

第34回津南町農業委員会総会議事録						
招集年月日	令和5年4月25日					
招集の場所	津南町役場 3階 大会議室					
開 閉 会 日 時	開会	令和5年4月25日 9時00分				
	閉会	令和5年4月25日 11時00分				
出席委員並びに 欠 席 委 員	番号	氏 名	出欠	番号	氏 名	出欠
	1	板場 勇司	出	10	藤ノ木 敬一郎	出
	2	藤木 正光	出	11	河田 千春	出
	3	根津 秀人	出	12	桑原 京子	出
	4	津端 久夫	出	13	中澤 繁夫	出
	5	樋口 則郎	欠	14	中山 國廣	出
	6	桑原 幸枝	出	15	藤木 巖	出
	7	島田 福一	出	16	涌井 益夫	出
	8	中村 敬二	出	17	藤ノ木 稔	出
	9	滝沢 芳則	出	18	涌井 直	出
議事録署名委員	6	桑原 幸枝		7	島田 福一	
職務のために出席した者の氏名	主事		藤原 陸		事務局長	
					太田 昌	
説明のために出席した者の氏名						
書 記	藤原 陸					
議事日程	別紙のとおり					
会議経過	別紙のとおり					

## 会議経過（令和５年４月２５日）

### 【開会宣言】

会長

定足数に達しておりますので、これより第３４回津南町農業委員会総会を開会します。

### 日程第１ 会議録署名委員の選出について

会長

会議録署名委員の指名を行います。議長の指名による選出とさせていただきますが、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

会長

本日の会議録署名委員に、６番桑原幸枝委員と７番島田福一委員の両委員を指名いたします。

### 日程第２ 報告第１号 会長報告について

事務局

報告第１号会長報告について、会長が出席しました会議等内容を報告いたします。

会長

会長報告について、質問等がありますでしょうか。

（特になし）

### 日程第３ 報告第２号 農地法第１８条第６項の規定による通知について

会長

事務局の朗読及び説明をお願いします。

事務局

今月の農地法第１８条第６項の規定による通知は８件です。

会長

質問や補足事項等がありますでしょうか？

藤木巖委員

5番・8番について  
法人の案件になります。かなりの規模で農業をしていましたが、破産しました。後ほど詳しく説明があると思います。よろしくお願いします。

#### 日程第4 報告第3号 農地法の適用を受けない事実確認願証明について

会 長

報告第3号農地法の適用を受けない事実確認証明願いについて、事務局の朗読及び説明をお願いします。

事務局

農地法の適用を受けない事実確認願の通知は2件です。

会長

質問や補足事項等がありますでしょうか？

半戸敬行委員

1番について

会長、事務局と現場確認をしました。場所は事務局の説明通りです。写真で見ると家が建っていますが、実際は取り壊されています。  
現況は原野状態でした。

板場勇司委員

2番について

事務局のほうから現場確認の依頼が来ませんでしたが、誰か現場確認に行ったのでしょうか。

事務局

3月の総会で4条の特例29条の追認事案で申請し、許可された案件です。  
その届け出に沿って非農地証明を出しました。ですので、現地確認はしていません。

板場委員

非農地証明というものは担当委員・事務局で現場確認をしてから出すものではないのでしょうか。今回は非農地証明をして地目を変更登記したいのではないかと思います。

事務局

確認をして、次回の総会までに回答します。

島田福一委員

1番について

この話は土地改良から出てきた。4月3日に現地確認し、6日の土地改良の理事会で申請があった。農業委員会の総会日を待たずに、許可が出ているのはどうしてか。

またあるところでは総会前に許可をし、別のところでは確認に行ったらきれいに管理されていて許可できないこともあるし、今回のように確認すらしていないところもあるので、再度全体で確認したほうがいい。

委員①

まじめな人は転用するときに申請をして、農地の条件などで建てられない、建ててしまってから追認で簡単にできるのはおかしい。

委員②

18条の解約の話になりますが、7番について登記は畑、現況は田だけどいいのか。

事務局長

基本開田はしてはいけないことになっています。

滝沢芳則委員

かなり昔にやったのではないのか。■■■■のほうにもいくつかある。なかなか深い根があり難しい話である。

藤ノ木稔委員

申請者本人というよりも先代がしてしまった話を掘り返してもきりがないので、区切りをつけるのはどうでしょうか。

島田福一委員

農業委員会総会前に土地改良の会議に出たのはまずいのではないのか。この総会の意味が問われる。

会長

非農地証明については、緊急の場合は事務局長先決ができる。総会では「報告」ということになる。その辺を事務局は説明してください。

事務局長

次回の総会で説明させていただきます。

**日程第5 議案第1号 農地法の規定による許可申請書の審査について**

会長

議案第1号農地法の規定に基づく許可申請書の審査について、事務局の朗読及び説明をお願いします。

事務局

今月の農地法の規定に基づく許可申請は、第3条許可申請が5件、第5条許可申

請が1件です。

(事務局の朗読、説明)

会長

質問や補足等がありますでしょうか。

中山國廣委員

3条4番について

譲受人は[ ]になっていますが、実家が[ ]にあり今は母親が一人でいるので[ ]で生活をしています。

譲渡人は農業できないということで、隣を耕作している譲受人が契約をしました。現地も確認しました。よろしくお願いします。

滝沢芳則委員

3条1番について

3筆譲受人の田んぼに付随しているところになります。  
よろしくお願いします。

桑原幸枝委員

3条5番について

複雑なのですが、譲渡人は[ ]の方で、娘が[ ]に嫁いでいます。今譲渡人の農地を面倒見ているのは娘さんの嫁ぎ先のお義父さんと旦那さんが耕作をしています。ゆくゆくは譲渡人の息子が耕作するとのことでこの契約になっています。よろしくお願いします。

藤木正光委員

5条について

自分の農地を自分の会社に貸し付けるとのことですよね。  
ここは基盤整備したところではないですか。

桑原京子委員

基盤整備したけど、去年の段階で申請が上がってきて許可が出ています。  
地質調査で時間がかかり、転用の申請は今になりました。譲渡人からは去年の段階で話が来っていてよろしくお願いしますとのことでした。

藤木正光委員

基盤整備したところに建物を建てていいのか。  
苗場山麓第2地区での基盤整備で、償還金がまだ終わっていない。  
建物を建てるとなると、満額を支払わないといけないのではないのか。

桑原京子委員

この土地についての償還金は終わっている。工事費に対しての償還金が残っている。

事務局長

次回の総会までに確認します。

滝沢芳則委員

以前[ ]を建てたときは、特例措置の農業用施設として建て経緯があります。その当時は、元の牛舎の公共工事によって移転をせざるをえなくなったため県や津南町長から説明があり許可が出ました。

委員③

農業用施設だと特例が取れるのか・・・

委員④

これは確認してからでないと許可が出せない。

会長

5条については事務局確認お願いします。

今回は5条を除いて採決をします。

原案のとおり許可することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

会長

全員賛成ですので、原案のとおり許可を決定いたしました。

## 日程第6 議案第2号 農用地利用集積計画書の審査について

会長

議案第2号農用地利用集積計画書の審査について、事務局及び説明者から朗読及び説明をお願いします。

事務局

津南町長より、農業経営基盤強化促進法及び農業経営基盤強化促進基本構想に基づき審査依頼がありました。

今回は所有権移転が2件、利用権設定の新規が36利用権設定の更新が4件です

(農用地利用集積計画の内容を朗読、説明)

以上の計画要請の内容は、経営面積・従事日数など、農業経営基盤強化促進法第

18条第3項の各要件を満たしております。

会長

いずれも、担い手との契約に伴う利用権設定・移転であり、特に問題のある届出はないかと思われます。

只今の事務局の説明及び朗読の内容について、委員の方からの補足説明、意見、質疑等ありましたらお願いいたします。

滝沢芳則委員

所有権移転2番について

譲渡人のおじいさんは都会に出られ、今回譲渡人のお父さんが亡くなり農地を相続しました。以前から申請地は譲受人が耕作していたのでこのタイミングで売買をすることになりました。

利用権新規7番について

家の農地の隣になります。以前は農業法人が耕作していましたが、1反歩くらいしかないので新たに耕作者を見つけるよりか自分で耕作しようと思いましたがよろしくをお願いします。

藤ノ木稔委員

新規19番から34番について

■■■■に法人が立ち上がりました。

多くの農地を担ってくれると思うのでみなさんよろしくお願いします。

今は主に2人、お父さん含めると3人でやっています。

住所が■■■■になっているのは自宅の場所だからです。

根津秀人委員

所有権移転1番について

譲受人が買うことになりました。金額ですが、残っている償還金を譲受人が支払っていくということでこの金額設定になっています。

利用権新規2番・3番・4番について

4番貸手から連絡があり、更新したくても耕作者に連絡が取れず困っており、借手と契約を結びました。後日耕作者から連絡があり前年まで作っており、今年の段取りがあるので貸してほしいと言われたが既に借手と契約したので断りました。

■■■■のほうは相対が多く、契約があっても転貸していることもあるのでトラブルが起きやすいです。

委員⑤

耕作者は枝豆を主に作っています。

2年借りて作らなかつたら小作料支払いはしないなどあります。

委員⑥

これは借手の都合で貸手のことを考えず、小作料もバラバラで設定しても支払わ

ずにいることが多い。

会長

耕作面積が 0 だけど。

委員⑦

■の従業員に貸しているのではないか。

委員⑧

作物を植えていても収穫せずに、そのまま耕していたりしており管理もよくない印象があります。

県からも機械を導入したりとしているので県からもしっかりと指導してほしいと思います。

委員⑨

指導があったから契約を結んだのではありませんか。

委員⑩

全体的な話になってきますが、畑の周りの草など管理を借りた側にしっかり伝えたいほうがいいのではないのでしょうか。

桑原幸枝委員

うちも 3 件で輪作していますが、畑の周りの管理をすることを含めて約束を取り決めています。

滝沢芳則委員

畑の周りの管理ができない農家や法人は経営のほうも厳しい印象があるので注意が必要だと思います。

会長

農地の管理について広報誌などで周知が必要だと思います。  
耕作者は会社ではなく、個人で申請しているのはなぜなのかなど耕作者のことをしっかりと調べてください。

板場勇司委員

集積計画では転貸は認められているのでしょうか。

事務局長

仲間同士で転貸をしているのが実状です。  
農業公社の土地も契約がついていても実際誰が作っているのかわからないです。

島田福一委員



前回は話しましたが、公社の賃料はどうなりましたか。

事務局長

1年かけて話し合いをしていこうとなりました。

滝沢芳則委員

公社が 〇〇〇〇〇〇 円で設定しているので、隣の個人所有の農地の賃料も合わせて設定しています。下げるのもいいけど、出し手側の気持ちも考えて話し合いをしてください。

藤木巖委員

新規16番、17番、18番について

16番について3月中に進んだので今月あげられました。借手は貸手の実家であります。17番の借手はお隣の家であります。

18番の貸手と借手について、貸手は高齢で管理ができないのでお金はいらないから作ってくれということで契約を結びました。

今後出てくると思いますのでよろしくお願いします。

会長

他に質問等がありますでしょうか。無ければ委員に関する案件を除いて採決をいたします。

賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

次に利用権設定の新規7番について採決をします。

(滝沢芳則委員退席)

利用権設定について賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

次に利用権設定の新規18番について採決をします。

(藤木正光委員退席)

利用権設定について賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

会長

全員賛成ですので、原案のとおり許可を決定いたしました。

【閉会宣言】

会長

以上をもちまして、津南町農業委員会第32回総会を閉会します。

以上の会議経過は書記が記したものであるが、その内容が事実と相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年     月     日

津南町農業委員長

会議録署名委員

会議録署名委員